

## 新しい春、旭も次の一步へ

市長 米本 弥一郎



新年度が始まり、桜の花びらが春風に舞う季節となりました。市内の小・中学校では約800人が新入学を迎え、また、新社会人として第一歩を踏み出す方も多いと思います。環境の変化に戸惑うかもしれませんが、健康に気を付けて、自分のペースで一歩ずつ進んでいただきたいと思います。新たな門出を迎える皆さんのご活躍を心から応援しています。

この4月から、市では行財政改革として幾つかの見直しを行います。一つ目は窓口の開設時間です。市役所本庁舎などの窓口を午前9時から午後4時30分までに試行的に短縮いたします。これにより職員の働き方を見直し、デジタルを活用した業務改善や政策立案に力を注ぐ時間を確保することで、より質の高い市民サービスの提供を目指します。

二つ目は公共施設の使用料の改定です。公共施

設は、市民の皆さまが納める税金と施設利用者が支払う使用料で運営しています。しかし、

近年は人件費や物価の上昇の影響もあり、経費の大部分を税金で賅っている状況にあることから、施設を利用する方と利用しない方の負担の公平性を確保するために、改定することといたしました。

将来にわたり持続可能なまちづくりを行うために、行財政改革は避けて通れません。さまざまなご意見があると思いますが、市民の皆さまにご理解とご協力をいただけるよう、今後も情報発信に努め、皆さまの声を聴きながら改革を進めます。

市長の  
活動記録

